

議員 地球温暖化防止・持続可能な循環型社会への構築には、「焼却・埋め立てのごみ処理」からの脱却が求められる。焼却処理されるごみの多くは、資源化が可能である。ごみの発生自体を減らすことに力を入れる「ゼロ・ウェイスト」(ごみゼロ)の運動と取り組み



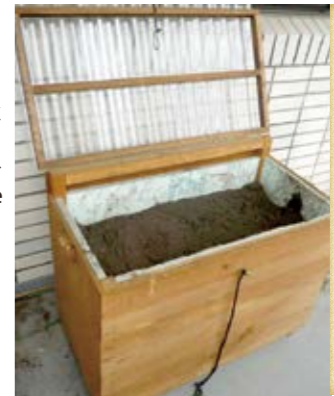
議員 地温防止・持続可能な循環型社会への構築には、「焼却・埋め立てのごみ処理」からの脱却が求められる。焼却処理されるごみの多くは、資源化が可能である。ごみの発生自体を減らすことに力を入れる「ゼロ・ウェイスト」(ごみゼロ)の運動と取り組み

ごみの発生を減らす *ゼロ・ウェイスト運動を 「考え方を含め施策を検討したい」 手塚 静枝 議員

ごみゼロ

環境経済部長 ①17種類の分別と花苗交換事業を実施し、ごみの資源化や生ごみの減量化に取り組んできた。継続的な取り組みが重要であり、市民への意識啓発が課題である。ゼロ・ウェイストの考え方を含め、市民への情報発信や、意識啓発のための施策を検討したい②生ごみ処理機として有効な手だての一つと考える。導入状況を調査し、研究したい。

産後うつ予防「産婦健康診査事業」の創設を



■キエーロの特長■
「庭でもベランダでも出来る」
「バクテリアの力で分解」
「ランニングコスト ゼロ」
電気代ゼロ、特別な菌等不要
「虫や臭いが気にならない」
土の中に埋めるのがポイント
「投入物の制限がほとんど無い」
てんぷら油の廃油もOK

ベランダでキエーロ(埼玉県ふじみ野市ごみダイエット通信No.1より)

議員 「産後うつ」が深刻化すれば育児放棄や虐待の恐れがあるため、うつ予防や早期発見の健診費用を助成する「産婦健康診査事業」が国の新年度予算案に計上されている。健診事業の創設を求める。
福祉部長 うつ検査や産後ケア事業の実施が必須の補助要件であることから、事業の創設は、直ちにとはいえない。今後、検討する。

戸田駅前

にぎわいある
戸田ならではの駅前広場を

電線地中化後に整備予定

十川 拓也 議員



議員 戸田駅は戸田市の中心に位置する。にぎわいある、戸田ならではの駅前広場を。

戸田駅西口周辺の整備検討エリア



都市整備部長 戸田駅周辺は、都市マスタープランにおいて、「賑わいと活力のある拠点地域」と「東西方向の都市軸による賑わい空間」の形成を基本方針としている。現在、西口駅前の道路では、前谷馬場線、西口駅前通り線の整備を実施した。今後は、電線地中化整備後に、警察、JR東日本との協議などを経て、駅前広場の本整備を実施する予定。
議員 平成27年から計4回開催された戸田駅の西口周辺整備に関するワークショップの内容を

用について伺う。また、ハード面での整備だけでなく、多様なイベントの誘致、情報の発信等、ソフト面での整備についての考えも伺う。

都市整備部長 ワークショップでは、イベントスペースの設置、緑の確保、夜間照明の工夫などの提案が出た。これらの提案を考慮し「戸田ならではの空間づくり」を検討していく。ソフト面での整備では、駅前広場にイベント等、多目的に利用可能なスペースの設置を検討し、「利用目的の範囲」、「利用の手続き」等についても、併せて検討していきたい。

その他の質問

Q 駅周辺の治水状況と冠水対策は。
A 豪雨時に一部で冠水。今後、排水施設整備や排水路の早期ごみ除去等に対応する。

健康寿命延伸

介護支援ボランティア制度を導入しては

「実情に即した制度をさらに研究」

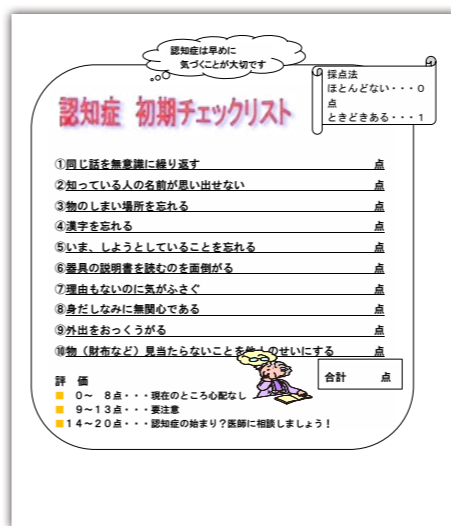
石川 清明 議員

議員 健康維持と介護予防の観点から、地域や人のつながりを深めること、生き生きとした地域社会づくりを推進する「介護支援ボランティア制度」を導入してはどうか。

福祉部長 本市で導入するに当たっては、制度を導入する課題の検証、具体的な仕組みづくり、ボランティア団体の意向調査など幅広い調整が必要になると考える。今後、他市町村の事業内容や本市での活動実態も勘案しながら、戸田市の実情に即した介護支援ボランティア制度について、さらに研究をしていき

議員 地域全体で支えていく地域包括ケアシステムへの第一歩となる「介護支援ボランティア制度」だと考える。住民が互いに助け合う「お互いさま」の地域づくり結びつく、新たな取り組みはあるか。

議員 「認知症簡易チェック」をホームページに導入しては。A 「認知症初期チェックリスト」のペーじもある。しばらくは、この方法を活用し、認知症への理解を広めていきたい。



▲認知症チェックリスト(戸田市版「認知症ケアパス」より)

*ゼロ・ウェイスト……ごみの発生自体を減らすという考え方。

【請願の結果】

不採択(3対21)
戸田東小・東中一貫校の拙速な決定をしないことを求める請願

賛成 花井 伸子 議員

反対 山崎 雅俊 議員

市民の率直な意見に耳を傾けて

将来の戸田市の教育のために大変重要

設計予算が計上された昨年6月議会の委員会記録では、委員は共通して、何の説明もないうまま補正予算で唐突に出されてきたこと、情報発信という部分で問題があることなど、多くの疑義が出されていた。請願者は、こうした議会の審査状況を確認した上で、今回の施設一体型の一貫校建て替えにおける決定過程が、議会に対しても市民に対しても不備であったこと、予算が可決されたからといってこのまま計画が進められてはならないとしてこの請願を提出された。市は、こうした市民の率直な意見に耳を傾け、拙速な決定を行わないよう求めて賛成討論と不採択をお願いする。